

横浜国立大学及び星槎大学との 連携取組事例発表会



日時：平成31年2月8日（金）
18時30分～20時30分

場所：役場分庁舎 第6・7会議室



本日のプログラム



- (1) 町の大学連携の取組みについて
- (2) 箱根町における循環構造の可視化
【発表：横浜国立大学経済学部池島ゼミナール】
- (3) 100歳プロジェクトの概要について
【発表：星槎大学 細田満和子副学長】

休 憩

- (4) 質疑及び意見交換



(1) 町の大学連携の取組みについて

◆平成29年3月

星槎大学との連携・協力に関する基本協定の締結

目的：双方の持つ知的、人的、物的資源を有効活用することにより、人材の育成、学術の向上並びに活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与する。

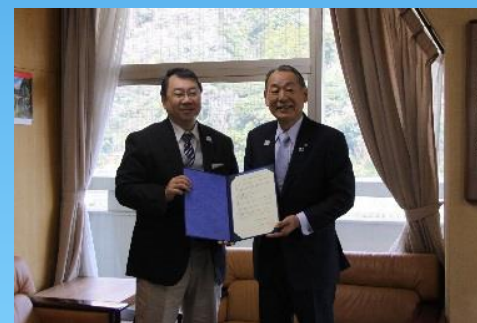
※これまでの経過

平成25年4月 星槎大学箱根キャンパス開設

8月 総合型スポーツクラブ、
スポーツ合宿運営開始

平成28年9月 星槎レイクアリーナ箱根の運営

(星槎グループの国際学園が指定管理者として運営)



星槎大学との連携による取り組み

連 携 項 目	概 要
小学4年生への星座に関する授業の開催	小学4年生の子どもたちを対象にプラネタリウムドームを使用した星座の授業を開催
教員免許更新における町内学校教員に対する支援	町内小中学校の教員が、教員免許を更新する際の星槎大学の利用及び減免措置の実施
中学生の陸上競技への支援	中学生の陸上競技の技能向上を目的とした人材派遣や星槎国際高校陸上部との交流練習会の実施
青少年問題に対する支援	箱根町青少年問題協議会への講師派遣
100歳プロジェクト	箱根町における多世代共創による人生100歳時代のインクルーシブなコミュニティづくり (神奈川県 大学発・政策提案制度採択事業)

◆平成30年2月

横浜国立大学との包括連携に関する協定の締結

目的：観光、まちづくり、教育等の様々な分野に関する包括的な連携を推進することにより、地域の課題解決及び大学の教育・研究機能の向上を図り、もって地域社会の発展を図る。



※これまでの経過

- 平成28年 2月 箱根リスク共生ツーリズムコンテスト開催
- 平成28年 7月 行財政運営を考える町民会議への参加（池島准教授）
- 平成29年 2月 地域経済循環に関する研究発表及び意見交換会開催
「シェアリング リソースによる箱根町への利益還元構造の創出（池島ゼミ）」
- 平成30年 1月 町の経済と財政を考える集いでの地域経済に関するレクチャー
「箱根町の地域経済と循環構造の構築にむけて（池島准教授）」

横浜国立大学との連携による取り組み

連携項目	概要
ワクワクフライデー (湯本小での学生による授業)	大学2年生が教育現場に触れる機会を設け、将来の教員育成、さらに箱根町で教員になることのきっかけとする。 小学6年生にとっては楽しみながら算数を学ぶ機会を設ける。
箱根町における循環構造の可視化 (地域経済循環実態調査)	国の地域経済分析システム(リーサス)の分析結果等をもとに、観光客の消費動向、町内の宿泊事業者や取引先企業の取引状況を実態調査し、町経済の循環構造の可視化と今後に向けた提案について研究した。
防災・観光アプリの開発	大涌谷エリアを対象とした防災・観光アプリの開発・実証実験の実施。(文部科学省科学技術振興機構のセクター・オブ・イノベーションプログラム採択事業)
横浜国立大学 留学生現地視察	町の観光及び財政状況について説明するとともに町内の視察を実施。
町財政等に関する講義 「地域連携と都市再生」	主に大学1年生を対象に、箱根町をテーマとして取り上げてもらい、職員が出向いて講話した。

